

11/27~12/8 附属小・人権旬間

一日一日「思いやりあふれる学校」に

○12/8 人権集会

今回の集会は、ゆめタイム「附小・人権部」が主体となって企画・運営しました。

開会にあたって、6年生・部長が「この集会は数年ぶりに体育館で開きます。日常的に思いやりを見い出すことができるように全校で考える場所にするためです。この集会で確認したことを、日々の学校生活に生かせるようにしましょう。そして、全ての人間が生まれながら持っている『人権』について理解を深めましょう」と全体に呼びかけました。

集会では、いろいろなクイズや劇の中で、日常生活や教室での気になることや場面が提示され、「思いやり」の大切さを考えるきっかけとなりました。クイズに手を挙げて答えたり、感想をマイクでインタビューされたりするなど、どの人も進んで参加できる工夫が随所にあつたので、会場の一体感が生まれました。各学年の取組紹介の映像も見応えがありました。和やかな雰囲気、みんなでじっくりと考え合う時間となりました。

副校長より『思いやり』は、『相手の立場に立って考え、言葉や態度で相手に伝えること、そして自分がどう伝えたら、相手が安心できるかなと考えて相手に接すること』です。『ふわふわ言葉＝聞いた人がほっとする、うれくなる、いい気持ちになる言葉』をたくさん使って、附属小学校を思いやりあふれる学校にしましょう。もし不安や心配なことが続くときは、友達やおうちの人、先生たち…身近で話しやすい人に相談してください。先生たちもみなさんの力になりたいと思っています。」とお話しました。

最後に、6年生・副部長が『人権』という言葉は一見難しそうに思えますが、今日の人権集会が、私たちの身近なこととして考えるきっかけになったらうれしいです。私たち人権部はこれからも、人権の大切さについて発信していきます。」と力強くしめくりました。実り多い集会になり、全校から大きな拍手が贈られました。

○各学級・学年の取組

校内のあちこちに、この2週間で学んだことや考えたことが、標語や詩、ポスターなど、いろいろな形で展示されています。思いや願いのつまった言葉や絵が、私たちはもちろん、来校される方々の心にも届いています。



○12/8 人権学習参観

各学級では、この機会だからこそみんなで考え合いたいテーマで、学習活動が展開されました。

子供たちが話し合う場面がいつも以上に長く設定されていて、お互いの思いや願いをじっくりと聞き合っていました。保護者の皆様も、子供たちの思いや考えをじっくり聞いておられたり、教室によっては話し合いの輪の中に入ってくださったりと、進んで参加いただきました。教室が温かい雰囲気になりました。子供たちと保護者の皆様、そして私たち教員、全校で学び合う1時間になりました。

★各学級でさまざまな活動が見られました

映像を見ながら共感する



オンラインで、筆者の思いに聴き入る



向かい合って思いや願いを話す



おうちの方々の意見も聞く



「いじめ0」について考えを交流しまとめる



情報化社会における人権を考え合う



12/10 4校園PTA 冬のつどい(親子ボランティア清掃・イベント) ありがとうございました!

ボランティア清掃では、中庭や通路、校舎の裏、溝・・・至る所でたくさんの落ち葉を集めていただきました。コンテナがあっという間にいっぱいになりました。親子やご家族が集い、協力されていて、すばらしかったです。その後、敷地内の各所で行われた4校園のイベントも盛況でした。ご参加の皆様、担当いただいた皆様、ありがとうございました。



◆ 担任から学級の子供たち全員に送る「年賀状」について

勝手ながら、担任から学級の子供たち全員への一斉の年賀状は、送らないことを基本としています。

1月の後期後半初日にお会いする時や年明けの学級・学年通信等にて、年始のごあいさつをさせていただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。